

## マテリアリティと資本の関係

当社グループは、自らの「強み」を生かし、各種資本を有効に活用することが、持続的な企業価値の創造において極めて重要であると認識しています。今後もマテリアリティへの取り組みを通じて、各種資本の一層の強化と拡充を図っていきます。

● 特にマテリアリティとの関連性が高い資本

マテリアリティ	マテリアリティと資本の関係性	非財務資本					財務資本
		人的資本	物流設備資本	知的資本	社会・関係資本	自然資本	
持続可能な「医療と健康、美」の流通 	シェアリングロジスティクス基盤モデルの展開や新たな流通網の構築に向けた取り組みは、社会・関係資本および物流設備資本の強化に直結しています。さらに、特許取得やノウハウの蓄積を通じて、知的資本の価値向上にも寄与しています。これらの活動は、売上の拡大を促し、ひいては財務資本の安定的な形成にも貢献するものと考えています。						
新たな価値創造による収益性の向上 	希少疾病用医薬品などの研究開発や海外展開へ向けた取り組みを通じて、新たなビジネスモデルの構築を進めており、これらは知的資本および物流設備資本の強化に資するものと捉えています。さらに、食品加工原材料卸売等関連事業における経営統合は、グループ全体のシナジー創出を促し、新たな利益の獲得を通じて財務資本の向上に寄与することが期待されます。加えて、地域医療コーディネーターの活動を通じて地域のヘルスケア課題の解決に対応し、さまざまなパートナーとの連携を深めることで、社会・関係資本の一層の拡充にもつなげていきます。		●	●	●		●
未来を担う人材の育成 	エンゲージメントの向上や新人事評価制度の導入、次世代リーダーの育成といった取り組みは、変革を推進する人材の増加を通じて人的資本の強化をもたらすとともに、ノウハウの蓄積や組織力の向上を通じて知的資本の充実にも寄与しています。これらの取り組みにより、競争優位性の確立や生産性の向上が図られ、ひいては企業価値の向上につながることで、最終的には財務資本の拡充へと結びつくものと捉えています。	●		●			●
ダイバーシティ&インクルージョンの推進 	女性活躍推進をはじめとする多様性の確保に加え、誰もが働きやすい職場環境の整備を進めることで、優秀な人材の定着を図るとともに、人権を尊重する企業風土の醸成に努めています。こうした取り組みは、人的資本の最大化に寄与するだけでなく、イノベーションや新たな価値の創出を通じて知的資本を高め、最終的には財務資本の拡充にもつなげるものと考えています。さらに、これらの活動は社会からの信頼を高め、企業価値向上にも寄与することで、社会・関係資本の強化にも資するものと認識しています。	●		●	●		●
脱炭素への取り組み 	自社の温室効果ガス排出量削減に向け、環境対応設備の導入を進めることで物流設備資本の高度化を図っています。これにより、気候変動の緩和を通じて自然資本の毀損抑制に貢献すると考えています。また、取引先の脱炭素に向けた取り組みを支援することは、社会・関係資本の強化に資するだけでなく、売上拡大などを通じた財務資本の向上にもつなげるものと捉えています。		●		●	●	●
健全で透明性の高い企業経営 	コンプライアンスの徹底に向けた取り組みは、高い倫理観を備えた人材の育成を通じて人的資本の強化を促し、組織の健全性向上により財務資本の持続的な拡充にも貢献します。加えて、リスク管理体制の高度化は、リスクマネジメントに関する知見の蓄積により知的資本の価値を高め、取引先との信頼関係の深化を通じて社会・関係資本のさらなる充実にもつなげるものと捉えています。	●		●	●		●